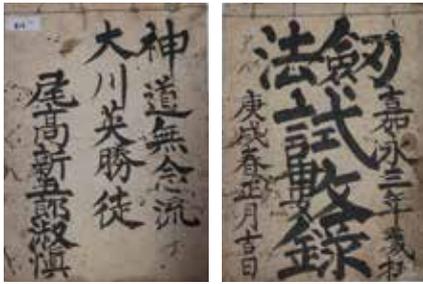


市立博物館 2022-5369

## 剣術師範大川平兵衛と渋沢栄一・尾高惇忠

大川平兵衛(英勝)は、幕末、川越藩の軍制改革の中で藩の剣術師範に取り立てられた神道無念流の剣客です。平兵衛は横沼村(現坂戸市)と川越城下の通町に道場を構え、北武蔵の村々にも盛んに出稽古に行き、下手計村(現深谷市)の渋沢宗助の練武館によく通っていました。練武館の門下生の中には、後に富岡製糸場初代場長となった尾高惇忠(新五郎)や、経済・産業など、あらゆる分野で近代日本の基礎を築いた渋沢栄一もおり、平兵衛の手ほどきを受けました。栄一は後年、剣術の心を養う力に注目し、学校剣道の導入を進める高野佐三郎を援助しています。



剣法試数録 尾高新五郎(渋沢栄一記念館蔵)

左の写真は、尾高惇忠が嘉永3年(1850)に稽古した相手と回数を記録した帳簿です。裏面(写真左)には、「神道無念流大川英勝徒 尾高新五郎 淑慎」と誇らしげに書かれています。企画展「北武蔵剣術物語 - 川越藩剣術師範大川平兵衛とその時代 -」では、同帳簿をはじめ、大川平兵衛と北武蔵の剣術流派や明治時代の学校剣道導入に関する資料などを展示します。ぜひ、ご覧ください。

期間：10月12日(土)～11月24日(日) 経費：入館料200円



農政課 ☎224-5939

## サラダゴボウ

「まっすぐ育つように、ふかふかな土を作っています」と話

ある農業を継いで、現在は40種類ほどの野菜を栽培しています。



すのは、4年前から下赤坂でサラダゴボウを栽培している、小野農園の小野卓哉さん。できるだけ軟らかい土になるよう試行錯誤を繰り返してきたそうです。また、有機物を土に多く混ぜているため、土の中で微生物が活性化し、おいしい野菜が育つとのこと。

小野さんは、週に2回ほど市内中心部で「小野農園」ののぼり旗を出して自ら野菜を販売し、販売情報などをインスタグラムで発信しています。

あくがなく、薄く切って軽くゆでるだけでおいしく食べられる小野さんのサラダゴボウは、10月中旬ごろまで購入できます。ぜひ、味わってみませんか。



「取れたての野菜はつやつやしていてとてもおいしい」ということを多くの人に知ってもらいたいと、サラリーマンを辞め、家業で

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜

ゴボウ、カブ、キュウリ、コマツナ、サツマイモ、サトイモ、ダイコン、ナス、ネギ、ハクサイ、ピーマン、ホウレンソウ

編集後記

## どんぶり

**朝** 晩はだいぶ涼しく感じられるようになり、半袖では肌寒い日も増え、次第に秋が深まっていくのを感じます。

**秋** といえば、食欲の秋やスポーツの秋もありますが、川越の秋といえば「川越まつり」。今年は10月19日(土)・20日(日)に開催されます。今年には18台の山車が参加し、川越の町並みを絢爛豪華な山車や曳き手たちが掲げる提灯で彩ります。軒端揃えなどで飾られた町並みなど、普段と違う町の様子も楽しみです。



昨年の様子

また、曳っかわせの威勢のいい掛け声だけでなく、軽快な囃子や見ている人の歓声など、目だけでなく川越まつりを耳でも楽しんでいます。爽やかな秋晴れの下、開催されますように。

## 広報川越1448

■発行日/令和元年10月10日(毎月10日・25日発行)  
 ■発行/川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>  
 ☎049-224-8811(代表) ☎049-225-2171  
 ■編集/広報室

「声の広報川越(CD)」 「点字広報川越」を作成しています。ご希望の方は、広報室までご相談ください。  
 ☎224-5495 ☎225-2171

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁止します。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。 リサイクル適性

Fontworks  
UDFont